

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL <https://www.ksk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 八木 秀政 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,963	8.8	171	△15.5	180	△16.2	119	△16.6
2019年3月期第1四半期	3,642	2.4	203	△0.6	215	△0.4	143	4.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 97百万円 (△27.1%) 2019年3月期第1四半期 133百万円 (△18.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	20.13	19.71
2019年3月期第1四半期	23.76	23.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,201	10,381	72.3
2019年3月期	15,270	10,842	70.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 10,273百万円 2019年3月期 10,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	94.00	94.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	51.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,450	6.3	1,450	6.0	1,490	6.2	1,000	7.3	168.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	7,636,368株	2019年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,691,571株	2019年3月期	1,691,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	5,944,797株	2019年3月期1Q	6,037,957株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、良好な雇用環境と所得情勢、好調な企業業績を背景に個人消費や設備投資などの内需が堅調で、緩やかながらも拡大基調で推移いたしました。一方、世界経済は保護主義的な通商政策を背景とした貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢などの不透明な要素があり、減速の気配が徐々に強まっております。

当社グループの属する情報サービス産業界におきましては、企業の生産性向上や業務効率化目的に加え、AIやIoT、RPA等を使った新規ビジネス向けの投資需要が増加しております。

このような環境の中、当社グループでは拡大する市場の需要へ対応すべく、積極的に採用活動を展開し人材を確保してまいりました。また、新卒の新入社員に対しては、3ヶ月にわたって基礎教育を実施するなど、引き続き人材育成、早期戦力化に向けた成長投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,963百万円で321百万円の増加（前年同四半期比8.8%増）、売上総利益は770百万円で69百万円（前年同四半期比10.0%増）の増益となりました。

一方、採用にかかる経費の前倒しや教育の強化といった将来に向けての投資を積極的に実施したことで販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は171百万円で31百万円の減少（前年同四半期比15.5%減）、経常利益は180百万円で34百万円の減少（前年同四半期比16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は119百万円で23百万円の減少（前年同四半期比16.6%減）となりました。

当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

車載の組み込みソフト開発業務に関しては堅調に推移していることから、売上高は755百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。一方、半導体設計に関しては、半導体市況の悪化に伴い、受注量の減少や稼働率の低下がみられたことなどから、セグメント利益は164百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

住宅建設業界向けや金融系の各種ソフト開発の受注が好調な一方で、自社開発パッケージソフトウェアについては、新規販売に伴う立ち上げコストの負担がかさんでいることなどから、売上高は1,014百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント利益は74百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

堅調な需要に支えられ、各種支援業務や運用・保守業務の受注が好調です。需要を見越した積極的な人材投資を行ったことで、受注機会を的確に捉え、拡大する需要に対応してまいりました。その結果、売上高は2,193百万円（前年同四半期比12.7%増）、セグメント利益は442百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,923百万円となり、前連結会計年度末に比べ913百万円減少いたしました。これは主に、仕掛品が94百万円、有価証券が100百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が407百万円、受取手形及び売掛金が690百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は6,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が139百万円、ソフトウェアが31百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は14,201百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,069百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ618百万円減少いたしました。これは主に、その他流動負債に含まれる預り金が280百万円増加した一方で、短期借入金60百万円、未払法人税等が299百万円、賞与引当金が635百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は1,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が6百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ609百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は10,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ460百万円減少いたしました。これは利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益により119百万円増加する一方で、配当の支払により利益剰余金が558百万円、その他有価証券評価差額金が26百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月26日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,443	4,036
受取手形及び売掛金	3,541	2,851
有価証券	500	601
仕掛品	137	231
原材料及び貯蔵品	1	1
その他	215	202
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	8,837	7,923
固定資産		
有形固定資産	584	589
無形固定資産	291	260
投資その他の資産		
投資有価証券	4,580	4,440
その他	989	999
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	5,557	5,428
固定資産合計	6,433	6,277
資産合計	15,270	14,201
負債の部		
流動負債		
買掛金	215	188
短期借入金	60	-
未払法人税等	381	81
賞与引当金	1,182	547
工事損失引当金	-	7
その他	1,180	1,576
流動負債合計	3,019	2,401
固定負債		
退職給付に係る負債	1,171	1,178
資産除去債務	42	45
その他	194	194
固定負債合計	1,408	1,418
負債合計	4,428	3,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,644	1,644
利益剰余金	8,554	8,115
自己株式	△1,118	△1,118
株主資本合計	10,529	10,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	290	263
退職給付に係る調整累計額	△85	△80
その他の包括利益累計額合計	205	183
新株予約権	102	103
非支配株主持分	4	4
純資産合計	10,842	10,381
負債純資産合計	15,270	14,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,642	3,963
売上原価	2,941	3,193
売上総利益	700	770
販売費及び一般管理費	497	598
営業利益	203	171
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	4	4
保険配当金	2	-
その他	2	1
営業外収益合計	12	8
営業外費用		
支払利息	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	215	180
特別利益		
受取保険金	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	215	181
法人税等	71	61
四半期純利益	143	119
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	143	119

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	143	119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△26
退職給付に係る調整額	6	4
その他の包括利益合計	△9	△22
四半期包括利益	133	97
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133	97
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	737	959	1,945	3,642
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	21	5	27
計	737	980	1,951	3,669
セグメント利益	181	89	350	621

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	621
セグメント間取引消去	28
全社費用(注)	△446
四半期連結損益計算書の営業利益	203

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	755	1,014	2,193	3,963
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15	4	19
計	755	1,029	2,197	3,982
セグメント利益	164	74	442	681

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	681
セグメント間取引消去	27
全社費用(注)	△537
四半期連結損益計算書の営業利益	171

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。